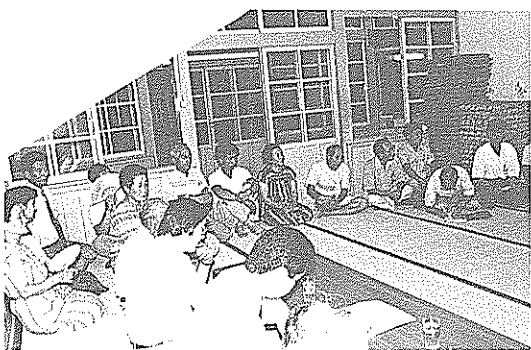


地域の切実な問題を

市政に反映しよう

瓶岩地区市政懇談会

公民館事業の一環として瓶岩地区市政懇談会が八月十九日に瓶岩公民館(島本保健館長で開かれ、市執行部からは市長や助役、関係各課長ら十一人が、また地元からは各地区の代表者約二十五人が出席して地元の抱える切実な問題を話し合いました。



約二時間にわたって熱心な話し合いが行われた

懇談会ではまず島本館長が「市の現状を聞き、地区の悩みを行政に考えてもらうためにこの会をもちました。実りある会にしたい。皆さんの意見を聞きたい」とあいさつ。

その後市長が市政に対する考え方を次のように述べました。

「市政の最大の課題は人材の養成、そして健康と福祉であると考えています。残念ながら国民休暇はまだまだ足りませんが、人が来るような場所には心身ともに健康で素朴な人が住んでほしい。そのように考えると我々の日常生活、言い換えれば福祉と文化が市政の最高の目標というようになります。」

続いて地区から出されてきた問題点について意見を交換しました。その主な内容は次のとおりです。

□瓶岩公民館の移転改築について市の考え方を聞かせてもらいたい。

□市内には十八の地区公民館があるが、なかには野田のように小学校の体育館を使用しているところもある。野田については今年度建築することになっているが、そのほかにも十市のように修理のしようがないほど老朽化しているところもある。老朽の具合を見ながら計画的に進めている。できるだけ早い機会にと考えているので理解していただきたい。

□六崎と外山の部落公民館の老朽化が激しいので改築してほしい。

□部落公民館については集落整備事業によって改築することになる。この事業は市の事業であり、申請を受けてその必要性を調査し、補助を決定する。制度の内容は、一定限度額はあるが、県費二分の一、市と地元が四分の一ずつを負担して行うというものだ。集会所については緊急度が高いので努力はするが、二か所同時には困難であるので、地元で協議をして優先順位を決めてもらいたい。

また、六崎公民館の改築については東道路建設時の条件であったということだが、道路の建設と公民館の改築は本来別のものである。市としては集落整備事業における位置付けを絶対的なものとするために県に働きかけてくれるよう建設省に要請していく。地元が確実に四分の一の負担ができるのであれば早期改築が可能であると思う。

三月に根曳峠を一斉清掃

□老人憩いの家の建設をお願いしたい。

□六十二年度は十市地区、今年度は福生地区、来年度は日章地区の予定で、一年一計画を立てて進めている。これは集落整備事業と同じく県の補助事業であり、公民館の整備状況なども見ながら地区の皆さんが集まれる施設を整備していきたい。また、老人憩いの家の建設を考へる前に地区公民館が利用できる前にも検討してもらいたい。制度としては、用地は地元で確保し、限度額の九百万円を越える分は地元負担となる。

□国道三三線沿いの山林へのごみの不法投棄を取り締まってほしい。

□国道三三線については今年三月に皆さんの協力もいただいて清掃ができたが、継続的な取り組みが難しい。調査したところ待避所の下にかなりのごみが散乱しているようだ。関係機関と協議してフェンスをはるなどの形で一定の効果が見られるのであれば考えたい。

また、今年度の環境週間に瓶岩地区の衛生委員会が知事表彰を受けたが、皆さんの日ごろの努力に対する評価と心から敬意を表する。

□農林道の整備と公害のない地場産業の育成を図ってもらいたい。

□林道については間伐材の搬出ができなければ生活がおびやかされるなどの必要性は認識している。当初国の地域構造改善事業を導入して改修する計画を立てていたが、市の試算した単価では無理があり、当面作業路の形で整備することを計画している。

農道については、小さいものの整備はなるべく地元で協力をお願いしたい。災害の場合は県の補助で修理できる制度もある。

企業誘致は市長の重点施策の一つであり、瓶岩地区について具体的な取り組みはしていないが、市全体として公害のない大企業の誘致を進める一方、県内の中小企業についても受け入れに取り組んでいる。

□し尿処理場の早期移転をお願いしたい。また移転までは市の責任で水質検査を行い、その結果を公表する。



教育施設の充実に

向けて工事開始

香南中・奈路小・白木谷小で起工式



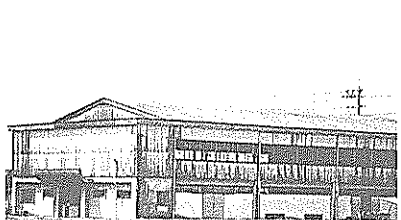
安全を祈願してくわれ(奈路小学校)

奈路小学校の校舎は、現在の施設が老朽化し、面積も不足していることから増改築を行うものです。新校舎は鉄筋コンクリート造り二階建て、延べ床面積七百五十七平方メートルで、工事費は一億一千七百五十万円です。

白木谷小学校の屋内運動場は現在なく、施設の充実に図るために新築するものです。新施設は鉄筋コンクリート一部鉄骨造り、延べ床面積六百五十平方メートルで、工事費は九千五百万円です。

この三施設はいずれも昭和六十四年二月に完成する予定です。

香南中学校の屋内運動場は、現在の施設ではじゅうぶん実技ができず、面積も不足していることから増改築するものです。新屋内運動場は、鉄筋コンクリート一部鉄骨造り、延べ床面積八百三十平方メートルで、工事費は一億二千七百万円です。



改築される香南中屋内運動場

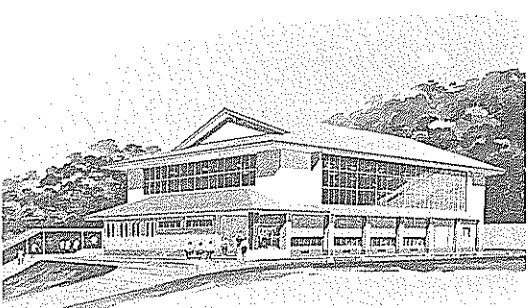
人事異動

農業委員会事務局長の休職に伴い、市は八月二十五日付けで次のとおり人事異動を発表しました。

産業経済課長兼農業委員会事務局長 関田敬(産業経済課長)

おわびと訂正

八月十五日号広報なんごく三ページの臨時議会の可決議案「香南中学校屋内運動場」は「香南中学校」野中小集落地区改良事業7区12工区改良住宅の「二階建て」連棟は「三階建て」の誤りでした。おわびして訂正いたします。



白木谷小屋内運動場完成予想図

治造穂橋改修が完了

新川にかかっている市道稲吉明見線の治造穂橋の改良工事がこのほど完了し、通行できるようになりました。

治造穂橋は昭和八年のもので老朽化し、また幅も狭く行き違いが困難であったため、その解消を目的として五月二十一日から市が工事を進めていたもので、工事費四百七十九万七千円をかけて八月三十一日に完成しました。



改修された治造穂橋

この改修工事によって幅が三メートルから六メートルに拡張されました。

地区に関しても定期的に水質検査を行い、その結果は総代に報告している。塩素の値が少し高いようであるが、農業用水については心配ないと思う。

□外山川と亀岩川の合流点にたいして土砂を除去してもらいたい。

□抜本的な改修を県に要請している。県では川の形態から河床を下げるのが一番良いと考えて、調査を進めているようだ。

そのほか、市道の整備や久礼田小学校の整備などの要望も出されました。また、行政に対する鋭い指摘もされるなど、二時間余りにわたって熱心な話し合いが行われました。